

〔クロチアニジン・イソチアニル・
フラメトピル粒剤〕

農林水産省登録 第23890号

性 状：類白色細粒

毒 性：普通物

危 険 物：—

有効年限：5 年

包 装：1 kg × 12、12 kg × 1

箱 大 臣® 粒 剤

有効成分：クロチアニジン ……1.5% イソチアニル ……2.0%
フラメトピル ……4.0%

殺虫剤分類 **4A**
殺菌剤分類 **P3,7**



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。
本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧いただけます。

〔適用と使用方法〕

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期*	総使用回数*	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	1 kg/10 a	移植時	本 剤：1回 クロチアニジン：4回 (#7) イソチアニル：3回 (#8) フラメトピル：2回 (#9)	側条施用
湛水直播稲	いもち病 紋枯病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ キリウジガガンボ		は種時	本 剤：1回 クロチアニジン：4回 (#4) イソチアニル：3回 (#5) フラメトピル：2回 (#6)	は種同時施薬機を用いて土中施用する
稲 (箱育苗)	いもち病 白葉枯病 紋枯病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) もみ枯細菌病 内穎褐変病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g 高密度に は種する場合は 1kg/10a(育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5ℓ)1箱当 り50~100g)	移植7日前 ~移植当日	本 剤：1回 クロチアニジン：4回 (#1) イソチアニル：3回 (#2) フラメトピル：2回 (#3)	育苗箱の上から 均一に散布する

- #1：移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回
#2：移植時までの処理は1回、本田では2回
#3：移植時までの処理は1回
#4：は種時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回
#5：は種時までの処理は1回、本田では2回
#6：は種時までの処理は1回
#7：直播でののは種時又は移植時までの処理は1回、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回
#8：直播でののは種時又は移植時までの処理は1回、本田では2回
#9：直播でののは種時又は移植時までの処理は1回

⚠ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせて秤量し、使いきる。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植する。

- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾糶として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの葉量を50から100gまでの範囲で調整する。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用する。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗等には葉害を生じるおそれがあるので注意する。
- 本田の整地が不均整な場合は葉害を生じやすいので、代かきはていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意する。
- いぐさ栽培予定水田では使用しない。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しない。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布する。
また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさける。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。



安全使用上の注意

- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、本剤を使用した苗は養魚田に移植しない。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管する。

〔品目特性〕

- 紋枯病に対し優れた効果を示します。
- いもち病に対し安定した高い効果を示します。
- 水稻の主要害虫に対し優れた効果を示します。